



## 朝の登校



昨日の入学式では、一年生は、保護者の方と一緒に学校に登校しましたが、いよいよ今日からは自分で歩いて登校することになります。初日ということで、ほとんどの保護者の方が学校まで見守っていただきました。ありがとうございました。右の写真は、一年生の登校の様子を写したものです。黄色い帽子とランドセルカバーがあるので一目で一年生だと分かります。あと1週間もすると、自分一人で歩いてくるのではないかと思います。がんばれ！ 一年生

## 登校後は・・・

1年生の登校に合わせて、6年生が教室に待ち構えていて、ランドセルの片付け方など、登校後の動きを教えていました。下の写真は、その時の様子を写したものです。



6年生は、こういう活動を通して、リーダーとしての自覚が芽生えてきます。これから、1年生と6年生でパートナーを決めて、様々な活動を行うこととなります。1年生の子どもたちも、早く学校生活に慣れてほしいと思います。

## 校長室の窓から

～ 親子関係を考える ～

子どもに関わる痛ましい事件が報道されることがあります。親子関係が原因となっている場合も少なくありません。親として、子どもにどう関わっていけばいいのでしょうか。

イギリスの作家、ローレンスは、次のような言葉を残しています。

子どもを父や母に結びつけていた絆は、決して切れることはない。  
けれども、それはゆるむのである。

よく、「親子関係にひびが入った」などという言葉を使います。親子の絆は切れることはないのですが、「ゆるむ」つまり、希薄になったり、疎遠になったりすることはよくあります。子どもは大人になるにしたがって独立していくものです。親は愛してあげるときはしっかり愛し、見守る、突き放すときは心を鬼にしてそうすることが必要なのかもしれません。日々真剣につきあっていくことで、親子の絆は固く結ばれていくのだと思います。